令和６年度障がい者の働きやすい職場づくりモデル事業

事例 3

三糧輸送株式会社　（業務内容：貨物自動車運送事業、倉庫業）

障がい者の雇用・定着に向けた職場環境整備の取り組み

課題

雇用率　0%からの脱却

- 障がい者の働ける仕事が思い浮かばず、具体的な求人活動に移行できない
- 障がい者の担当する業務の切り出しが進まない
- 社内の障がい者受入れ体制が十分でなく、正直、受け入れることへの抵抗感が払しょくできていない

取組

とにかく行動　知見を広げる！

- 事業の新旧参加事業所を視察させていただくことにより、知見を広げる
- 取り入れ可能と思われる事案の社内展開の試み
- 障がい者雇用に向けた社内チーム作りを進める

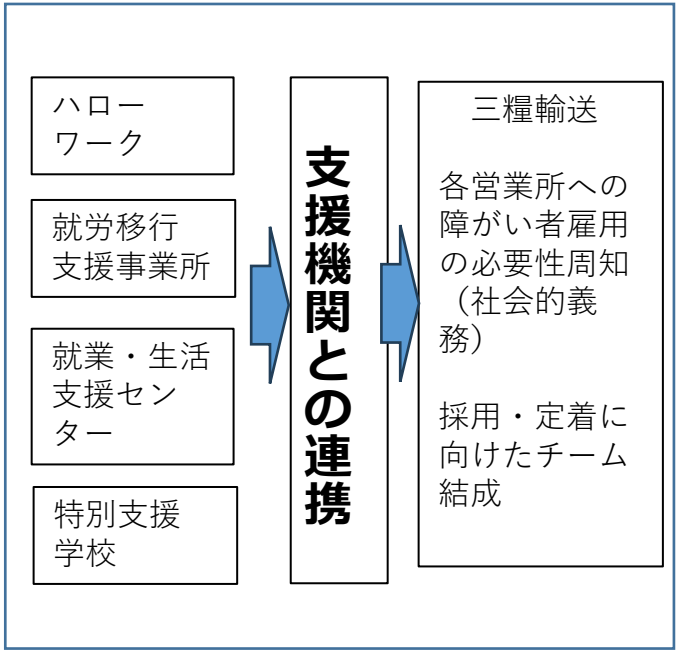
展望

まずは0.5人から！　社内に障がい者受入れの土壌を作る

- まずは、障がい者の働きやすい職場を早期に作る
- 1名（0.5名）の採用を早期に実現する
- 社内に受入れの輪を広げる

障がい者実雇用率

現在		3年後目標
0 %	▶	1.5 %



事業に参加しての感想

三糧輸送　久保村（本社統括部）

本活動に参加する前は、「とにかく雇用を進めなければ」と焦るばかりで、具体的な行動に移すことができていませんでした。今回新たに参加された企業や過去に参加された企業の方達に様々なヒントをいただき、できるだけ早く、雇用率０%からの脱却を目指したいと思います。

一人でできることは限られてくるので、社内で仲間を増やし、チームとして取り組んで行きたいと思います。